

市長におかれましては、日々市政に奮闘されておられることと存じます。

さて、私たち一家は、市が「降下ばいじん」と呼んでいる物質による被害（市の調査で主たる排出元とされている「製鉄所」は「被害」という文言を避けているようですが）を受けています。

この降下ばいじんについて、以下のことをご提案しますので、市長ご自身の率直なお考えをお聞かせください。

1 市民の声を聞くことについて

市として何らかの対策をとっていくために、まず被害実態を把握することをご提案します。

広報紙を通じてのアンケート調査、ネット等を通じたパブリックコメントの募集など、手法は色々考えられます。何らかの形で実施されるべきではないでしょうか。

対策はすぐには打てなくても、この取り組みだけで、「市長は聞く耳を持っている」との評価が得られることは間違いありません。被害者の気持ちも1割くらいは軽くなると思います。

なお、住宅・車・洗濯物などの汚れのほか、学校のプールの汚れも気になります。最初の調査は、広く状況を把握するため、汚染対象と被害レベルを選択式にするなど、誰でも簡単に回答できるような工夫を望みます。

2 三者の情報共有について

粉じん対策について、2019年12月に千葉市環境審議会から市長へ提言が行われています。その一つに「事業者・地域住民・千葉市の三者間における情報共有を図ること」がありますが、この3年間に「情報共有」は進んだのでしょうか。

例えば、専門家を加えた四者による「粉じん問題協議会」を設置し、少なくとも年1回、現状と対策について話し合うことをご提案します。

3 ばいじん降下マップの作成・周知について

ハザードマップに倣い、市内の降下ばいじん量に応じた「ばいじん降下マップ」を作成し、ホームページ等で周知することをご提案します。

私たち一家は何も知らずに最もばいじん量が多い地域に新居を構えて後悔していますが、これから千葉市への転居を考えている人にとっては大いに参考になると思います。

4 公共施設の清掃に係る費用負担について

学校や真新しい市庁舎を始めとして、市の公共施設におけるばいじんの清掃については、費用全額を税で賄うのではなく、発生源の製鉄所に半額程度の費用負担を求めることをご提案します。

特にプールの汚れ（ばいじんが水面全体に浮く）は放置できるものではなく、現状どう対処しているのかもご確認していただき、市民の納得できる対応をお願いしたいです。

なお、個人の住宅については、住民の意識や被害程度が様々なので、各人が製鉄所に清掃作業なり、費用負担を求めればよいと考えます。